

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月4日(火)

事務事業		特産物PR事業		担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	36311	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり	根拠法令 個別計画等						
	小項目	2	農畜産物の販売流通体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		市内農畜産物の消費拡大及び産地としての認知度向上を図るため、市内及び市外消費者に対して、各種プロモーション事業を実施し市内農畜産物のPRを行うものである。								
目的 ※何のために		市内農畜産物のPRによる消費拡大及び産地としての認知度向上を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		市内および市外の消費者								
手段 ※どのように		各種プロモーション事業を実施し市内農畜産物のPRを行う。								
成果 ※何を求めるか		市内農畜産物がより多くの消費者に認知され、消費の拡大が図られる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	3	農業振興費	特産物PR事業	13,168,618
本事業の 主な業務		・特産品の情報発信(HP、FBなど)					・			
		・販売促進に係るPR業務(出張博覧会、全国ねぎサミットなど)					・			
		・ふっカーゴの管理、貸出					・			
		・メディア対応					・			
		・生産者、消費者アンケートの実施					・			
		・					・			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・農業王国ふかやマルシェ・出張博覧会・全国ねぎサミット・各種イベント参加	・農業王国ふかやマルシェ・出張博覧会・全国ねぎサミット・各種イベント参加	・農業王国ふかやマルシェ・出張博覧会・全国ねぎサミット・各種イベント参加	・農業王国ふかやマルシェ・出張博覧会・全国ねぎサミット・各種イベント参加		
事業費	予算(現額)	4,813,000	15,398,000	5,450,000	5,968,000		
	決算額	4,150,221	13,168,618	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	4,123,657	11,479,026	4,616,000	4,661,000	
		一般財源	26,564	1,689,592	834,000	1,307,000	
人件費	従事職員数(人)	1.32	1.57	1.17	1.17		
	人件費相当試算※	10,387,816.00	12,575,960.00	9,782,253.00	9,782,253.00		
総事業費試算		14,538,037	25,744,578	15,232,253	15,750,253		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	農畜産物PR事業数	目標値	回						
		実績値		19.00	19.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度ごとに事業数変動するため、目標値を設定しない / PR事業体系別集計					
	実績値の算出式								
活動指標 2	農畜産物メディア取り上げ数	目標値	回						
		実績値		27.00	70.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			コントロールできないため目標値を設定しない / PR事業体系別集計					
	実績値の算出式								
成果指標 1	農畜産物PR事業の来場者数	目標値	千人						
		実績値		109.00	120.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			コントロールできないため目標値を設定しない / 参加事業PR実績来場者数					
	実績値の算出式								
成果指標 2	市内農畜産物の購入を心掛けている人の割合	目標値	%						
		実績値		63.60	62.90				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			コントロールできないため目標値を設定しない / 深谷市民まちづくりアンケート					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	計画をしていた事業等については、順調に実施することができた他、コロナ禍で開催できなかった市内での「深谷出張博覧会」も開催することができ、深谷産農畜産物の認知度向上、消費の拡大を図ることができた。また、全国ねぎサミットの本市での開催を通して、農業施策の取り組みなどを全国に発信することに繋がられた。さらに、おにぎり連携事業へ参画し、全国各地の自治体と連携し、深谷産農畜産物の新たな活用方法に繋がられた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	物価が高騰するなかで、消費者は産地のものという考え方ではなく、安価なものを購入している傾向が強いと考えられる。しかし、産業祭や農業王国ふかやマルシェなどを通して生産者自らが販売し、その魅力を消費者に伝えることができていることで認知され、「市内農畜産物の購入を心掛けている人の割合」は減少しているが、一定程度は保たれているものだと考えられる。
			評価者 特産係長 荒木 守

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	より効果の高いイベント事業等を実施するため、生産者や消費者アンケートを実施するなどイベント事業にも工夫を加えていく必要がある。また、消費者の購入志向や方法が変化しているため、SNS等を活用するなど、幅広く消費者のもとに直接情報が届け、深谷産農畜産物の認知度向上、消費拡大を図っていく必要がある。
			評価者 特産係長 荒木 守

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	より効率的・効果的な事業としていくため、他部署との事業連携や新たな取り組みができるかを検討していく。また、今年度は全国ねぎサミットが深谷市で開催され、様々な地域から多くの来訪者が見込まれるため、より効果的なPR方法を検討し、深谷産農畜産物や市の魅力が最大限発信できるよう実施していく。
達成状況及び その効果	全国ねぎサミットの開催においては、他部署や市内企業・団体との連携を図り、深谷市の農業の取組を紹介する講演会の実施や市内回遊につなげるためのガチャを実施するなど工夫を加え、市の魅力や農畜産物のPRを行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	特産物PR事業	担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	36311
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		様々な場所でイベントが開催される中で、目的を明確にし効果的な事業展開となるよう工夫を加えてイベント事業等を実施することができた。 今後は、2026年度にブロッコリーが指定野菜に指定されるなかで、本市がブロッコリーの一大産地であることを多くの方に認知していただき、深谷産ブロッコリー選んでいただけるようPRを行うとともに消費拡大につなげていく必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	農業振興課長 前野 武一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	本市はブロッコリーの作付面積、産出額が市町村別で日本一位であるが、あまり認知されていない。そのため、各種イベント、SNS等を活用して、ブロッコリーの一大産地であることを多くの方に認知してもらうため情報発信を行い、指定野菜となる2026年度には深谷産ブロッコリーを選んでもらえるようPRしていく。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	引き続き、ブロッコリーの情報発信を行っていくとともに、市内の農協、市場や生産者団体等と連携し、認知度向上・消費拡大を図っていく。

8. 評価指標グラフ

